



生徒に学校で育てたい資質・能力

学校教育目標

心身共に健康で
知性豊かな
実践力のある生徒の育成

千葉市

【目指すべき子どもの姿】

夢と思いやりの心を持ち 未来を拓く子ども

【教育目標】 自ら考え 自ら学び
自ら行動できる力をはぐくむ
わかる授業・楽しい教室・夢広がる学校
づくりのさらなる充実を図る

【生徒の皆さんに心がけてほしいこと】

(見えない学力)

A=あたりまえのことを

B=ばかにしないで

C=ちゃんとできる人こそ

D=できる人

(A B C Dの原則)

「あたりまえのこと」とは
人として一生を支える「根っ子」



- ①「挨拶をする」
- ②「時間を守る」
- ③「掃除をする」
- ④「やり抜く」
- ⑤「互いの違いを認める」

目指す学校

めざす学校像

温かみと潤いのある学校
生き生きと活気のある学校
達成感と充実感のある学校
家庭・地域と連携し協力し合う学校

めざす生徒像

- ・思いやりのある生徒
- ・目標をもって学ぶ生徒
- ・協力し高めあう生徒
- ・健康で活力のある生徒

めざす教師像

- ・生徒一人ひとりを大切にする教師
- ・明るく、心身共に健康な教師
- ・意欲をもち、自ら研修に努める教師
- ・職務の役割を自覚し、協力し合う教師

めざす授業像

- ・知識・技能がしっかりと習得される授業
- ・思考力・判断力・表現力等を育む授業
- ・生徒が「見通す」「振り返る」活動を通して、主体的に学びに向かう授業

重点努力目標

《今年度の重点》 **自他を大切にし、よりよい人間関係を築きながら、主体的に自ら学びに向かう生徒の育成**

心身の健康

豊かな知性

実践力

Plan

Action

人として一生を支える
豊かな心と丈夫な体作りを
目指した指導の充実

- ほめる、認める、適切に叱ることを通して、自己肯定感(自信)の向上を図る。
- 道徳や各種講演会等を通して、社会モラルやマナー、規範意識の向上を図る。
- 人権、特別支援教育を通じて多様性を容認し、思いやりの心を醸成する。
- 部活動や体育的行事、宿泊学習を通して、体力向上、健康な体作りを図る。
- 家庭、PTA、育成委員会との積極的な情報交換をすすめ、基本的な生活習慣や生活モラルの向上を図る。

「主体的・対話的で深い学び」
を生み出す(わかる)授業の
実践と個に応じた指導の充実

- 「主体的・対話的で深い学び」を生み出す(わかる)授業展開を工夫し、最終的に主体的に自ら学びに向かう生徒の育成を図る。
- 定期テスト前後の補充(フォローアップ)学習を充実させ、きめ細かな学習支援体制を整え、基礎学力と自信の向上を図る。
- 少人数指導、T・Tの効果的運用を図る。
- 家庭学習習慣の定着のため、1日1ページノートの定着を図る。

他との関わりの中で、社会人として必要な基礎的資質・行動力の向上を目指した指導の充実

- 働く人から学ぶ会や職場体験等の活動を通して「キャリアパスポート」を充実させ、自己の人生設計を図る。
- 地域行事やボランティア活動への積極的な参加を通して、人のために働くことに喜びを感じられる心を醸成する。
- 道徳や保健体育等を通して、命の教育を推進し、自他の命を尊重し、救うすべ(救命術等)を身につける。
- 生徒会活動を通して、自治力を育成する。

具体的な方針

生徒が「何が身についたか。できるようになったか。」 ※評価の充実

Check

Do

保護者アンケート(年3回)

4つのステージ

【第1ステージ】

出会いと団結

- ・入学式 ・始業式
- ・新入生歓迎会
- ・生徒総会
- ・3年修学旅行
- ・2年自然教室

【第2ステージ】

自己への挑戦

- ・総合体育大会
- ・3年高校体験入学
- ・地域ボランティア
- ・体育祭・職場体験
- ・後期生徒会発足

【第3ステージ】

深化と実り

- ・招待弁論大会
- ・学習・合唱発表会
- ・生徒会主催
校内レク大会
- ・1年地域学習

【第4ステージ】

はばたき

- ・三年生を送る会
- ・卒業式
- ・修了式